

成育医療研究センターは国立大蔵病院と国立小児病院を統合して2002年に設立された国立高度専門医療研究センターです。入院病床は490床で産科病棟を除けばほぼ全て小児病棟であり、先天性疾患も含め当院でしか診られないような様々な疾患のお子さんが入院しています。

麻酔科は小児麻酔と産科麻酔に分かれていて、希望や必要に応じて期間を決めてローテートします。「麻酔科」と言ってもスタッフ・レジデント・フェローの中の半分程度が小児科出身の先生であり、さらに1ヶ月ごとにICU・総合診療部・救急部からのレジデント・フェローのローテートもあるので、色々な視点からの周術期管理を学ぶことができます。



手術室は11とアンギオ室があり、年間手術件数は5000症例以上です。

私が4月にお世話になってから経験した症例としては

- 先天性心疾患（Fontan、Glenn、CoA、PVO、PAB、MAPCA、ASD、VSDなど）
- 生体肝移植レシピエント（胆道閉鎖、代謝性疾患など）
- 脳神経外科（係留脊髄、キアリ奇形など）
- 眼科（先天性白内障など）
- 整形外科（多指症など）
- 泌尿器科（停留精巣、尿道下裂など）
- 外科（鼠径ヘルニア、虫垂炎、鎖肛など）
- 全身麻酔下検査
- 耳鼻科（扁桃摘出、アデノイド切除、気管切開）

- ・ 形成
- ・ 歯科（う歯処置）

など、多岐に渡っています。一般的な小児の麻酔のルーティンワークを学べるのはもちろんですが、特に麻酔科出身のレジデント・フェローは希望すれば積極的に心臓外科、肝移植などに当ててもらえるため充実した研修を送らせていただいています。

また週に 1 日程度外来担当日があり、今後手術になるお子さんの術前診察をするとともに外来鎮静で検査をする患者さんを担当します。腫瘍病棟などでの緩和に用いる麻薬の iv-PCA 管理も麻酔科の仕事であり、お子さんだけでなくご家族とのコミュニケーションも非常に重要になっています。

残念ながら産科麻酔はまだ研修していないのですが、今後 2 ヶ月お世話になる予定です。予定の帝王切開や胎児治療に加え 24 時間体制で無痛分娩を行っています。

これまできちんと勉強してこなかった先天性疾患や小児特有の疾患が多く、新しい患者さんの予習をするたびに教科書を開く毎日ですが、様々なバックグラウンドを持つ先生方に囲まれて楽しく勉強させていただいています。

大学や関連病院での成人麻酔はもちろん、様々な施設で多様な研修を行いながら一緒に楽しく働いてくださる方をお待ちしています！！



センターから徒歩5分程度の大蔵運動場・砧公園 春は桜がキレイです！